

沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館では、平成 25 年度より文化庁の国宝重要文化財等保存整備費補助金（国宝・重要文化財美術工芸品保存修理抜本強化事業）を受け、重要文化財「琉球芸術調査写真〈鎌倉芳太郎撮影／〉」の修理事業を行っております。



【事業経過】

平成 25 年度～平成 29 年度 「附 調査記録 81 冊」（鎌倉ノート）

全 81 冊に対し、汚れ除去、破損等の補修、酸性紙に対する処置、再装丁等の修理を実施した。

平成 30 年度～令和 4 年度 「一つ書 一、ガラス原板」（ガラス乾板 1,268 枚）

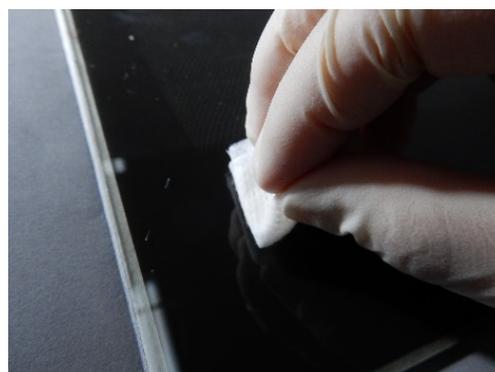
全 1268 枚に対し、損傷状態の調査、ガラス面のクリーニングを実施した。

令和 5 年度～令和 8 年度 「一つ書 一、紙焼付写真」（紙焼き写真 851 枚）

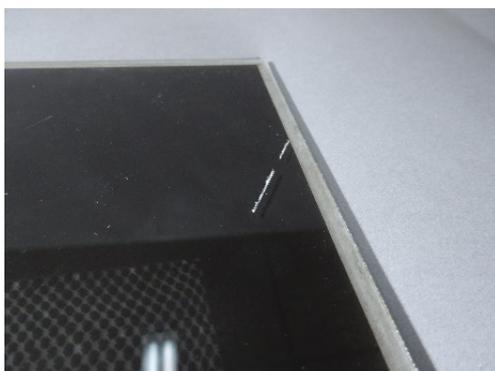
専門家による修理委員会を設置し、修理手法や材料、保管方法等について意見を聞き、修理方針の検討を重ね、損傷状態の調査、ドライクリーニングを実施している。



調査の様子



汚れ除去の様子



指紋等汚れ除去前



指紋等汚れ除去後

鎌倉資料とは

当館に収蔵されている鎌倉資料は、鎌倉芳太郎氏（1898-1983）が大正 10 年から昭和 2 年の間に行った調査の記録で、文書資料、写真資料、紅型資料、陶磁器資料等 7,553 点で構成されている。そのうち、ガラス乾板 1,229 枚、紙焼付写真 851 枚、調査記録 81 冊が平成 17 年度に国の重要文化財の指定を受けた。また、令和元年度にガラス乾板 39 枚が追加指定を受けた。